

## 高緯度北極の植生－蘚苔類を中心に－

## Vegetation of the High Arctic with special reference to bryophytes

# 神田 啓史 [1]; 内田 雅己 [1]; 上野 健 [2]; 小島 覚 [3]

# Hiroshi Kanda[1]; Masaki Uchida[1]; Takeshi Ueno[2]; Satoru Kojima[3]

[1] 極地研; [2] 極地研・生物; [3] なし

[1] NIPR; [2] NIPR; [3] NORA

著者らはこれまでに高緯度北極の生態系変動に関する研究を進めてきた。1994年、スバルバル諸島スピッツベルゲン島ニーオルスンでの氷河後退域の生態系変動の研究を開始して以来、現在までに14年にわたって継続調査を行ってきた。一方、国際極年(2007-2008)に向けたプロジェクト「TUNDRACYCLE」の一環として、スバルバル諸島との比較研究を念頭に入れて、2001年からはアクセルハイバーグ島、エルズミア島、ビクトリア島などのカナダ北極における植生の現状と変動に関する調査を行ってきた。

地球環境変動の中でも温暖化は北極域のツンドラ生態系や多様性においても大きな影響があると考えられており、本プロジェクトでも衛星データや航空写真の技術等を用いた方法で氷河後退域の植生の時空間的な変遷を把握する必要がある、計画が策定されている。

本研究ではツンドラ生態系の中でも重要な役割を持つ蘚苔類を中心に、各地域における植生について比較検討をしたので報告する。